

2024 年度 事業報告

I 総括

2024 年度は、本協会が 1984 年 4 月 3 日に社団法人として設立以来、東京都下水道局をはじめ関係各位、会員の皆様のご指導、ご支援により、40 周年を迎えることができた、記念の年度となりました。

40 周年記念事業として、機関誌「下水道設備」第 143 号（2024 年 7 月）では、当協会設立 40 周年記念号として、記念号にふさわしい充実した内容としました。

さらに、「下水道設備」に連載中の、写真家 山崎エリナ氏による、会員の社員が活躍する姿を捉えた「設備創造」について、今まで掲載した写真を中心に写真集にまとめ公刊しました。

また、都下水道局 下水道技術実習センターの開設時に当協会が提供した展示品についての説明パネルを新たに作成し、同センターに寄贈しました。

定例の事業としては、2024 年 5 月 27 日に第 49 回定時総会を懇親パーティーとともに開催しました。

その後、引き続き定款第 4 条に掲げられた事業を基調として、5 月に事業説明会、9 月に要望活動、10 月に研修会、技術視察、安全管理講習会、11 月に工事安全パトロール、公開講演会などを着実に実施してまいりました。

また、下水道局の防災訓練への参加、下水道局の研修に講師を派遣するなどとともに、下水道局と連携した広報として、9 月 10 日の「下水道の日」に合わせて、例年同様一般新聞の首都圏版（1 都 8 県）に全面広告を掲載しました。この広告は、2023 年度に引き続き、昔の汚れた東京の河川が、下水道の整備により美しくよみがえったことを、新旧の写真の対比で示したものです。

受託事業については、新規の案件を含め、2023 年度と比べて大幅な規模拡大となりました。

このように、2024 年度は、会員各社や下水道局及び TGS のご協力により、協会設立 40 周年にふさわしく、充実した事業を実施することができました。

それぞれの事業の具体的な実績・内容等につきましては、以下の事業実績に示します。

Ⅱ 事業実績

1 下水道設備に関する設備技術の向上・改善及び維持管理に関する調査研究

(1) 技術の調査研究

ア 実施日：2024 年 10 月 23 日（水）

イ 場 所：JAXA 地球観測センター（埼玉県比企郡鳩山町）

オリックス資源循環株式会社 寄居バイオガスプラント（埼玉県大里郡寄居町）

ウ 参加者：合計 20 名（会員会社 11 名、技術委員会 5 名、事務局 4 名）

エ 内 容：地球観測センターでは、施設の説明の後、地球観測展示室、「だいち 2 号」などの地球観測衛星からのデータを受信するパラボラアンテナ、データ処理システムなどを視察し、人工衛星による様々な観測が行われている状況の知見を得ました。

また、寄居バイオガスプラントでは、施設の説明の後、原料ごみ受入ピットを視察。その後、バイオガス発電機、ガスホルダー、メタン発酵槽などを外部から視察し、地域で発生する廃棄物を用いて発電するプラントについて理解を深めました。

(2) 東京都下水道局の技術開発に対する支援

下水道局との共同研究については、公募型共同研究、ノウハウ＋フィールド提供型共同研究、簡易提供型共同研究、開発技術の導入を前提とした共同研究などがあり、年間を通じて支援しています。会員はそれぞれの目的の下に共同研究などの技術を活かした事業化に取り組んでいます。

2 下水道設備に関する情報、資料の収集及びその普及啓発

(1) 下水道局事業説明会

下水道局幹部を講師として招き、当該年度の事業概要と設備関連の事業動向等について説明して頂くもので、下記のように実施しました。

ア 実施日：2024 年 5 月 28 日（火）

イ 場 所：新宿 NS ビル会議室

ウ 講師及びテーマ

(ア) 水木 事業調整課長「東京下水道の事業展開 ～令和 6 年度区部下水道事業について～」

(イ) 宗吉設備設計課長「令和 6 年度 区部設備建設事業」、「東京都下水道局にお

けるリン回収・肥料化の取組」

エ 参加者：合計 52 名（会員 43 名、事業第二委員会 5 名、事務局 4 名）

(2) 「下水道の現場を見よう」研修

ア 実施日：2024 年 10 月 03 日（木）

イ 場 所：砂町水再生センター（砂系水処理施設、りん回収施設）

ウ 参加者：合計 32 名（研修生 24 名、事業第二委員会 4 名、事務局 4 名）

エ 内 容：会員の若手技術者や事務職社員が、下水道事業の現場を見学し知識・視野を広めることを目的として、「下水道の現場を見よう」研修会を開催し、砂町水再生センターを見学しました。

砂町水再生センター本館見学者説明室にて、高橋センター長からセンターの概要等の説明の後、砂系水処理施設に移動。同施設見学後東部スラッジプラントに移動し、第一汚泥処理棟見学者説明室にて、奥田技術開発課長からりん回収施設の説明の後、同施設を見学しました。

(3) 下水道設備工事に関する要望活動

ア 実施日：2024 年 9 月 20 日（金）

イ 場 所：都庁下水道局会議室及び流域下水道本部会議室

ウ 要望先：下水道局：佐々木局長、相田次長、小泉総務部長、藤橋計画調整部長、新谷施設管理部長、小池設備調整担当部長、萩原建設部長、杉山施設整備担当部長、宗吉設備設計課長

流域下水道本部：袈岩本部長、織田管理課長、井上技術部長、寺迫計画課長、清水工事課長、番場設計課長、竹俣施設管理課長

エ 当協会参加者：合計 11 名（会長、専務理事、常任幹事 8 名、調査委員長）

オ 内 容：下水道設備工事に関する諸課題について、会員からのアンケート等に基づいて以下の 5 項目に整理した要望事項を、会長から文書で要望しました。

- ・（内外の社会情勢に対応した工事価格）引き続き、為替相場の変動や物流の 2024 年問題などに対応してスライド条項適用による設計変更や工期変更
- ・（電子契約制度の早期導入）事務作業の大幅な効率化、迅速化、ペーパーレス化、はんこレスが期待できる電子契約制度の早期導入
- ・（工事関連書類の軽減）引き続き、工程調整会議における書類など、大量の紙での提出を求められるケースについても、一層のペーパーレス化推進
- ・（検査業務）遠隔臨場などの活用を促進し、現場業務の一層の軽減化
- ・（施工条件等の明記）引き続き、十分な事前調査による特記仕様書等への詳細な施工条件の記載

(4) 下水道展に出展

ア 実施日：2024 年 7 月 30 日（火）～8 月 2 日（金）

イ 場 所：東京ビッグサイト東展示棟 1・2・3 ホール

ウ 来訪者：4 日間合計 825 名

エ 内 容：2022 年以来 2 年ぶりの東京開催となった下水道展に、当協会も 2022 年同様 8 小間で出展しました。

出展内容は、協会の構成会員を示したパネル、協会設立 40 周年の活動内容、歴史等を示したパネル、機関誌「下水道設備」に掲載した写真家 白汚 零氏の写真作品（6 作品）、写真家 山崎エリナ氏の写真作品（23 作品）を展示し、また、来訪者が歓談できるよう談話コーナーも設置しました。

当協会ブースには、下水道局、国土交通省、日本下水道事業団、TGS ほか、2 年前の 591 人を大きく上回る 825 名の方が来訪されました。

(5) 東京下水道関連団体交流会

東京都の下水道事業を支える TGS、下水道メンテナンス協同組合及び当協会の三者間、並びに TGS 連絡協議会との連携を深め、異業種と交流することを目的とする同交流会の研修は、コロナ禍によりしばらく実施できませんでしたが、2023 年度より通常開催となり、「相互理解研修」、「維持管理研修」、「現場視察」を実施しました。

なお、同交流会の運営のための合同会議に、当協会職員が出席しました（計 4 回）。

1) 相互理解研修

ア 実施日：2024 年 9 月 13 日（火）

イ 場 所：下水道技術実習センター

ウ 目 的：東京の下水道事業の把握、三者の役割の理解

エ 参加者：合計 58 名（うち会員 13 名）

オ 内 容：東京都下水道サービス株式会社の実務＜土木編、環境検査編＞（講師：TGS）、東京都下水道サービス株式会社の業務内容と役割＜設備編＞（講師：TGS）、一般社団法人東京下水道設備協会の業務内容と役割（講師：当協会職員）、下水道メンテナンス協同組合の業務内容と役割（講師：下水道メンテナンス協同組合）の各講義、下水道技術実習センター研修施設、南砂雨水調整池の視察

2) 維持管理研修

ア 実施日：2024 年 11 月 5 日（火）

イ 場 所：下水道技術実習センター

ウ 目 的：維持管理技術の現状把握、相互連携の強化

エ 参加者：合計 52 名（うち会員 10 名）

オ 内 容：維持管理の現状と課題

＜区部下水道の管路施設、設備編、水再生センター等の水質管理＞（講師：TGS）、

東部スラッジプラント施設の視察、砂町水再生センター 合流改善施設建設に伴う用地整備工事現場の視察

3 機関誌等の発行を通じて下水道事業の普及啓発

(1) 機関誌「下水道設備」の発行

下水道局及び TGS の幹部の方に原稿を執筆いただいたそれぞれの事業、当協会において実施した事業活動の報告、会員の技術情報及び会員間の交流の場として、レポート・随筆等を掲載しています。

表紙には、写真家 白汚 零氏が撮影した、普段目にすることができない設備機器の内部を、また、写真家 山崎エリナ氏が撮影した、会員の社員が活躍している姿を写真で紹介し、夏季及び新年に発行しました。

特に、第 143 号（2024 年 7 月）は、当協会設立 40 周年記念号として、都下水道局長や関係の方々から祝辞をいただいたり、歴代の機関誌の表紙を一覧にしたものや、協会行事の写真を年表風にしたものなど、記念号にふさわしい充実した内容としました。

ア 発行時期：夏季、新年（7 月、1 月）の年間 2 回の発行

イ 発行部数：7 月号 900 部（下水道展での配布を見込む）、1 月号 800 部を発行

ウ 配 布：会員、下水道局、TGS、その他官公庁、自治体及び関係機関等を対象として無料配布

(2) 機関誌「下水道設備」の目次を協会ウェブサイトに掲載

協会ウェブサイト「下水道設備」の表紙や目次などを掲載し、これまでの掲載内容を容易に検索できるようにすることで、下水道事業、下水道技術の普及啓発に貢献しました。

4 講習会及び講演会の開催

(1) 公開講演会

ア 実施日：2024 年 11 月 14 日（木）

イ 場 所：角筈区民ホール

ウ テーマ：下水道資源による循環型社会と国内外の官民連携

エ 講 師：東京大学 下水道システムイノベーション研究室 特任准教授
加藤 裕之氏

オ 参加者：合計 124 名（会員会社 85 名、事業第三委員会 5 名、下水道局 1 名、TGS 4 名、一般 22 名、報道 4 名、事務局 3 名）

カ 内 容：前半では、主に下水道資源として、「下水道は資源を運ぶメディア」、

「下水道資源のポテンシャル」、「リサイクルの成否」、「肥料原料の輸入」、「公定規格『菌体りん酸肥料』」、「汚泥肥料を使ってもらうには」、「持続的仕組みづくり」、「フランスの汚泥の農業利用」といった話題。後半では官民連携として、「欧米の動向」、「再公営化」、「国内の事例」、「ウォーターPPP」、「長期契約と管理・建設一体から発生しうる課題」、「フランス・ドイツのPPP」、といった話題を、多くの事例をあげて分かりやすく説明されました。

参加者からは、「参考になった、面白かった」という意見が大多数を占めました。

(2) 公開安全管理講習会

ア 実施日：2024年10月29日（火）

イ 場 所：新宿 NS ビル

ウ 第1部 講演会（公開）

(ア) テーマ：今後、ヒューマンエラー災害の防止をどのように進めていけばよいか？

(イ) 講 師：独立行政法人 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 特任研究員 高木 元也 氏

(ウ) 参加者：合計42名（会員会社30名、一般3名、安全管理委員会5名、報道1名、事務局3名）

(エ) 内 容：最近の事故事例を取り上げて事故の詳細と発生原因の説明、事故の統計的推移の説明があり、最近の労働災害は下げ止まり傾向であり、人間の特性に合わせた対策が必要で、作業員に対し「自分だけでは自分の命を守れない。」ことを教育することが重要、と強調されました。

エ 第2部 体験実習（会員対象）

(ア) テーマ：VR 体感装置実習

(イ) 講 師：株式会社明電舎

(ウ) 参加者：合計34名（会員会社25名、安全管理委員会5名、報道1名、事務局3名）

(エ) 内 容：バーチャルリアリティー（VR）装置を活用した体験実習として、高所からの墜落や、歩きスマホの危険、粉塵爆発の仮想現実が体験でき、また今回新たに立位機能検査が加わりました。

5 東京都の下水道事業に関する施策に対する協力

(1) 工事安全パトロール

ア 実施日：2024年11月7日（木）

イ 場 所：南部スラッジプラント及び城南島ポンプ所

ウ 対 象：

(ア) 城南島ポンプ所沈砂池機械設備再構築工事

請負者：前澤工業株式会社

(イ) 城南島ポンプ所電気設備再構築工事

請負者：三菱電機株式会社

(ウ) 南部汚泥処理プラント汚泥焼却設備改良・補修工事

請負者：メタウォーター株式会社

エ 参加者：合計 42 名（会員会社 35 名、下水道局 3 名、事務局 4 名）

オ 内 容：会員相互に工事現場を検証して安全管理能力向上を図るとともに、実際の工事現場で指摘された改善点は、後日改善し検証しました。最終的には報告書として整理し、下水道局に提出するとともに全会員に配布しました。

(2) 下水道の日にちなむ広報

毎年 9 月 10 日の「下水道の日」に合わせて、下水道局と連携して毎年読売新聞の首都圏版に広告を掲載しています。2024 年度は 9 月 1 日（日）に、昨年を引き続き、昔の汚染された東京の河川が、下水道の普及によってきれいになったことを伝えることを主眼とし、新旧の河川の写真を対比して示したものを掲載しました。

(3) 災害時における水再生センター等の応急復旧業務に関する協定に基づく業務

1) 協定に基づく出動体制・連絡体制の見直し

出動体制表を下水道局設備の主要設備ごとに対応したものとするとともに、連絡体制表を常時連絡がとれるものに見直し、2024 年 5 月 20 日に、両表を下水道局に提出しました。

併せて、各会員にも関係する部分に整理した表を配布し、共有化を図りました。

2) 下水道局の防災訓練への参加

ア 実施日：2024 年 4 月 17 日（水）

2024 年 10 月 31 日（木）

イ 内 容：当協会に配備されている業務用 MCA 無線機を使用して、下水道局施設管理部との通信訓練を実施しました。

3) 緊急通行車両等に関する事務手続

警戒宣言発令時又は災害発生時に交通規制が実施された場合、災害協定に基づく業務が円滑に行えるよう、会員が出動する際に優先して通行できる「緊急通行車両確認証明書」の発行に必要な事前届出済証の交付に関する事務手続を継続しています。

(4) 東京都下水道局の実務研修への支援

1) 局研修「運転・保全管理」

ア 実施日：2024 年 6 月 21 日（金）

イ 目 的：水再生センター及びポンプ所等の運転管理、保全管理業務に関する知識・技術を習得する。

ウ 内 容：水再生センターやポンプ所に設置されている設備の管理手法について、運転管理、保全管理業務に従事する下水道局職員を計画的に育成する目的で下水道局が実施するもので、当協会の会員技術者（2 名）が主ポンプ設備、高圧電動機設備に関する保全管理のポイントについて、講師として支援しました。

2) 局研修「設備設計Ⅱ」

ア 実施日：2024 年 9 月 24 日（火）

イ 目 的：設備工事の設計、設計指導及び審査に必要な知識・技術を習得する。

ウ 内 容：設備工事の設計、設計指導及び審査に従事する下水道局職員を計画的に育成する目的で下水道局が実施するもので、当協会の会員技術者（1 名）が、「下水道分野における AI 技術適用性」と題して講演しました。

3) 局研修「下水道事業パートナー」

ア 実施日：2024 年 11 月 19 日（火）

イ 目 的：下水道局と関連団体との業務上の関わりや各団体の実務を学び、下水道事業を支える事業運営体制を理解する。

ウ 内 容：主に関連団体と関わりのある下水道局職員を対象とし、下水道局と関連団体（TGS、下水道メンテナンス協同組合、当協会）との業務上の関わりや各団体の実務を学び、運営体制の理解促進を図って下水道事業を効率的に執行するために実施したもので、「一般社団法人東京下水道設備協会の業務」と題して講演しました（講師：当協会職員）。

4) 施設管理部職場研修「監視制御設備の最新動向」

ア 実施日：2024 年 12 月上旬映像配信

イ 目 的：監視制御設備の基礎知識及び故障時の動作を把握することにより、監視制御設備のトラブル時に的確な判断を行う危機対応力向上を図る。また、セキュリティに関する最新情報や監視制御設備情報セキュリティ実施手順の内容を周知することでセキュリティ意識の向上を図る。

ウ 内 容：当協会の会員技術者（4 名）が、「エネルギーマネジメントの取り組みについての紹介～工場・地域起点の脱炭素社会実現に向けて～」と題して講義しました。

(5) 東京都下水道局の設備系若手職員を対象とした会員の工場視察

ア 実施日：2024 年 10 月 29 日（火）

イ 目 的：東京都下水道局の設備系若手職員の技術力向上を目的として、会員

の工場への視察を受け入れ、局職員の技術力向上に協力する。

ウ 内 容：下水道局の設備系若手職員が、(株)電業社機械製作所三島事業所にて、製造工程・品質管理状況を確認し、技術力向上を図ることを目的としたもので、昨年に引き続き 2 回目の実施となりました。

(6) 東京都功労者表彰に対する推薦

東京都功労者として、会員の社員から該当する方を推薦しました。2024 年 10 月 1 日に開催された「東京都名誉都民顕彰式及び東京都功労者表彰式」において、「東京都功労者（労働精励）」として東京都から表彰されました。

6 下水道設備に関する調査等の受託事業

(1) 葛西水再生センターほか 3 か所電気設備現況基礎調査

ア 期 間：2024 年 9 月 26 日から 2025 年 2 月 26 日まで

イ 内 容：葛西水再生センター、森ヶ崎水再生センター（西）、平和島ポンプ所及び鮫洲ポンプ所の電気設備の現況を調査して、再構築工事等に必要な資料を作成しました。

(2) 下水道設備設計標準化作業委託

ア 期 間：2024 年 9 月 26 日から 2025 年 2 月 28 日まで

イ 内 容：下水道用施設で使用する機械・電気設備の設計の標準化を図るため、下水道設備に関する最新情報を収集し、下水道設備設計マニュアルのうち沈砂池機械設備設計マニュアルの改定に必要な資料作成を行いました。

(3) 監視制御設備データ通信基礎調査

ア 期 間：2024 年 10 月 15 日から 2025 年 3 月 7 日まで

イ 内 容：下水道用監視制御設備における遠方監視制御設備の適用について、基礎調査・基礎検討を行い、設備の機能性、信頼性の向上を図るために必要な資料を作成しました。

(4) 下水汚泥処理の維持管理改訂作業委託

ア 期 間：2024 年 1 月 17 日から 2025 年 2 月 28 日まで

イ 内 容：「下水汚泥処理の維持管理」は、発行より 20 年近く経過し、従来の処理技術に加え、設備等の高度化が進んでいることから、下水道設備に関する最新の情報を収集し、同書の改定に必要な作業を行いました。

(5) ICT・AI 技術を活用した次世代のポンプ運転支援に向けた調査委託その 2

ア 期 間：2024 年 6 月 19 日から 2025 年 3 月 14 日まで

イ 内 容：共同研究「ICT・AI 技術を活用した次世代のポンプ運転支援に向けた流入予測技術の開発」で開発した支援システムを現場にて検証するもので、流入量予測の精度向上や支援内容の改善、実用化のための仕様策定と必要な技

術開発を行い、導入に向けた調査を行いました。

(6) 汚泥焼却炉点検の効率化に関する基礎調査及び作業委託

ア 期 間：2024 年 9 月 26 日から 2025 年 3 月 14 日まで

イ 内 容：経年劣化による故障や修繕のため停止期間が長期化する汚泥焼却炉について、その点検・調査の新たな手法を技術開発することで、焼却炉の安定した運転に資するための基礎調査及び作業を行いました。

(7) 汚泥焼却炉画像デジタルデータの活用等に関する調査委託

ア 期 間：2024 年 11 月 25 日から 2025 年 3 月 14 日まで

イ 内 容：汚泥焼却炉点検で得られた画像デジタルデータを使用し、経年劣化の状況やそれを補修した際の出来形確認等に活用するための手法について基礎調査を行いました。

(8) 下水道施設維持管理共通データ基盤及び支援システム構築に関する調査委託その 2

ア 期 間：2024 年 12 月 4 日から 2025 年 3 月 14 日まで

イ 内 容：2023 年度に実施した「下水道施設維持管理共通データ基盤及び支援システム構築に関する調査委託」の結果をもとに、システムの重要な構成要素である共通データ基盤、保全業務支援システム及び運転業務支援システムの段階的な導入に向けた実証設備に関する検討を行いました。

7 共益事業

(1) 協会設立 40 周年記念事業

ア 写真集「設備創造」公刊

機関誌「下水道設備」に連載中の、写真家 山崎エリナ氏による、会員の社員が自社工場や下水道局の施設で活躍する姿を捉えた「設備創造」について、今まで掲載した写真を中心に写真集「東京下水道 設備創造」にまとめ、都下水道局や関連団体、会員に配布したほか、2024 年 12 月 6 日に一般書店から発売開始しました。

イ 下水道技術実習センター展示品説明パネル寄贈

都下水道局 下水道技術実習センターの開設時に当協会が提供した展示品についての説明パネル (A1 サイズ 7 枚) を新たに作成して同センターに寄贈し、2024 年 12 月 12 日に贈呈式が行われました。

(2) 新春賀詞交歓会の実施

ア 実施日：2025 年 1 月 7 日 (火)

イ 場 所：ロイヤルパークホテル

ウ 内 容：一般社団法人日本下水道施設業協会と合同で新春賀詞交歓会を開催

し、394名の参加がありました。

東京都、国土交通省等の来賓挨拶を賜り、新年の新たな取組などについて意見交換等を行いました。

(3) 会員会報「設備協だより」の発行

ア 発行時期：毎月1回（年間12回）発行

イ 発行方法：各会員の正・副連絡員及び各委員長・部会長宛に毎月当初にEメールで送信

ウ 内容：会員へのお知らせ、当協会における活動内容及び下水道局関連情報等

(4) 表彰

定時総会の懇親パーティー時に、協会活動に功績・功労のあった方々の表彰を実施しています。2024年度は、1名の方を功績賞、3名の方を功労賞として表彰しました。

(5) 下水道職員健康駅伝大会

下水道職員健康駅伝大会ですが、埼玉県八潮市道路陥没事故の影響で2024年度も中止となりました。

8 その他、本会の目的を達成するために必要な事業

(1) 協会ウェブサイトの内容の整理・充実を図り、当協会の事業活動を広く公開しました。

2024年度は、新たに英語版のページを構築しました。

(2) 協会の概要を掲載したリーフレットを改定し、配布を行いました。

(3) 専門誌・紙へ協会の広告を掲載し、協会及び会員のPRを行いました。

Ⅲ 会議等の開催状況

1 理事会

(1) 第1回理事会

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」及び定款の定めにより、下記議題について理事会での決議・報告を省略し、書面にて理事・監事全員の賛同を得られたことから、2024年4月26日に決議・報告したとみなしました。

【議案】

第1号議案 2023年度 事業報告及び財務諸表並びに監査報告の件

第2号議案 公益目的支出計画実施報告書及び監査報告の件

第3号議案 特定積立資産の取崩しの件

第4号議案 表彰の件

(2) 第2回理事会

2024年5月27日に京王プラザホテルにて開催しました。

【議案】

第1号議案 会長、副会長及び専務理事選定の件

【報告事項】

報告1 会長及び専務理事の職務執行状況

(3) 第3回理事会

2025年2月27日に新宿NSビルにて開催しました。

【議案】

第1号議案 2024年度 収支予算の変更の件

第2号議案 2025年度 事業計画及び収支予算の件

第3号議案 規程改定の件

第4号議案 特定積立資産の取崩しの件

第5号議案 特定積立資産の計上の件

【報告事項】

報告1 会長及び専務理事の職務執行状況

報告2 東芝インフラシステムズ株式会社から
株式会社東芝への会員資格継承

以上の議案を慎重に審議し、全員の賛同が得られました。

2 総会

(1) 第 49 回定時総会

2024 年 5 月 27 日に京王プラザホテルにて開催しました。

【議案】

第 1 号議案 2023 年度 事業報告及び財務諸表並びに監査報告の件

第 2 号議案 役員（理事及び監事）選任の件

【報告事項】

報告 1 公益目的支出計画実施報告書概要及び監査報告

3 その他

- (1) 常任幹事会、9 つの委員会及び 3 つの部会、並びにその他の会議等の活動日程とその概略については、「常任幹事会・委員会・部会・その他会議等記録」をご覧ください。

2024 年度 常任幹事会・委員会・部会・その他会議等記録

開催日	会 名	場 所	概 説
2024 年 4 月 03 日	電機部会	蔵前会議室	前年度持ち越し議題、今年度の作業(受託)内容確認
4 月 12 日	拡大常任幹事会	新宿 NS ビル 3J 会議室	理事会・定時総会議案について
4 月 12 日	電機部会	蔵前会議室	前年度持ち越し議題、今年度の作業(受託)内容確認
4 月 23 日	調査委員会	協会会議室	委員長と今年度の予定を確認
4 月 25 日	広報委員会 (第 1 回)	協会会議室	機関誌、下水道デー新聞広告について
5 月 08 日	電機部会	蔵前会議室	残件協議及び今年度の作業(受託)内容確認
5 月 14 日	常任幹事会	協会会議室	2024 年度理事会及び第 49 回定時総会ほかについて
5 月 14 日	業務委員会	協会会議室	定時総会時対応について
5 月 22 日	調査委員会 (第 1 回)	新宿 NS ビル 3A 会議室	今年度の活動予定及び日程等の確認
5 月 23 日	下水道関連団体交流会(第 1 回)	TGS 本社	昨年度活動総括及び今年度活動状況ほかについて
5 月 28 日	事業第二委員会	新宿 NS ビル 3J 会議室	事業説明会
6 月 05 日	電機部会	蔵前会議室	残件協議及び今年度の作業(受託)内容確認
6 月 11 日	常任幹事会	協会会議室	要望活動、各委員会活動の日程について
6 月 24 日	安全管理委員会	協会会議室	今年度の活動について
6 月 26 日	事業第二委員会	協会会議室	今年度の活動について
7 月 03 日	技術委員会	協会会議室	今年度の活動について
7 月 03 日	電機部会	蔵前会議室	受託案件の内容協議

開催日	会 名	場 所	概 説
7 月 04 日	調査委員会 (第 2 回)	新宿 NS ビル 3E 会議室	要望活動アンケート集約及び詳細日程等の確認
7 月 09 日	常任幹事会	協会会議室	各委員会活動状況ほかについて
7 月 09 日	広報委員会 (第 2 回)	協会会議室	下水道展について
7 月 10 日	事業第三委員会	協会会議室	公開講演会について
7 月 12 日	下水道関連団体交 流会(第 2 回)	TGS 本社	相互理解研修、維持管理研修について
7 月 30 日 ～8 月 02 日	広報委員会	東京ビッグサイ ト	下水道展
8 月 07 日	電機部会	蔵前会議室	受託案件等の内容協議
8 月 20 日	拡大常任幹事会	新宿 NS ビル 3I 会議室	要望活動内容ほかについて
9 月 04 日	電機部会	蔵前会議室	受託案件等の内容協議
9 月 10 日	常任幹事会	協会会議室	海外視察について
9 月 11 日	下水道関連団体交 流会(第 3 回)	TGS 本社	相互理解研修、維持管理研修について
9 月 13 日	TGS「相互理解研 修」	砂町技術実習 センター	関連団体交流会「相互理解研修」講師
9 月 20 日	調査委員会	都庁第二庁舎 及び流域本部	局への要望活動(要望書手交)
9 月 26 日	処置装置部会 (沈砂池班)	TGS 本社	沈砂池マニュアル打合せ(メンバー顔合わせ)
10 月 02 日	電機部会	蔵前会議室	受託案件等の内容協議
10 月 03 日	事業第二委員会	砂町水再生セ ンター	「下水道の現場を見よう」研修会
10 月 04 日	処置装置部会 (沈砂池班)	TGS 本社	沈砂池マニュアル打合せ(全体工程会議)
10 月 08 日	常任幹事会	協会会議室	要望活動、「下水道の現場を見よう」研修の報告
10 月 22 日	広報委員会 (第 3 回)	協会会議室	機関誌について
10 月 23 日	技術委員会	寄居町他	技術視察
10 月 24 日	処置装置部会 (沈砂池班)	TGS 本社	沈砂池マニュアル打合せ(全体工程会議)
10 月 29 日	安全管理委員会	新宿 NS ビル H,I 会議室	安全管理講習会
10 月 29 日	局事業同行	電業社 三島事業所	下水道局品質認定工場を活用した設備系若手職 員現場視察
11 月 07 日	安全管理員会	南部スラッジプ ラント	工事安全パトロール
11 月 12 日	常任幹事会	協会会議室	技術視察、工事安全パトロールほかの報告
11 月 14 日	事業第三委員会	角筈区民セン ター	公開講演会
11 月 19 日	局 「パートナー研修」	砂町技術実習 センター	下水道局「パートナー研修」講師
11 月 26 日	処置装置部会 (沈砂池班)	協会会議室	沈砂池マニュアル打合せ(修正作業確認)
12 月 04 日	電機部会	蔵前会議室	受託案件等の内容協議
12 月 10 日	常任幹事会	協会会議室	40 周年記念事業ほかについて

開催日	会 名	場 所	概 説
2025 年 1 月 07 日	業務委員会	ロイヤルパーク ホテル	賀詞交歓会
1 月 08 日	維持管理員会、 電機部会	蔵前会議室	発電設備故障調査キックオフ、 受託案件等の内容協議
1 月 15 日	常任幹事会	協会会議室	第 3 回理事会ほかについて
2 月 01 日	事業第一委員会	日産スタジアム	下水道職員健康駅伝大会(中止)
2 月 05 日	電機部会	蔵前会議室	受託案件の取りまとめ
2 月 10 日	電機部会(臨時)	蔵前会議室	受託案件の取りまとめ(内容修正協議)
2 月 12 日	拡大常任幹事会	新宿 NS ビル 3I 会議室	理事会議案について
3 月 04 日	下水道関連団体交 流会(第4回)	TGS 本社	今年度活動状況総括及び来年度活動内容の確 認
3 月 05 日	電機部会	蔵前会議室	受託案件の内容協議、成果品確認
3 月 11 日	常任幹事会	協会会議室	2025 年度理事会及び第 50 回定時総会ほか について